

# Sports Fukushima

スポーツふくしま

28  
2012.12

(財) 福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館  
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971

I will play sports together!



みんなでスポーツを!



## 人と地域が輝く『ふくしま』を創ることを目指して

今年4月より、県体育協会専務理事を仰せつかり、その重圧・責任の重さをひしひしと感じている毎日であります。微力ながら、頑張っ参りますのでよろしくお願いいたします。

さて、本県は、昨年の東日本大震災及びその後の原子力発電所事故から1年9ヶ月を過ぎた現在も、県内外で避難生活を続けている方がおよそ16万人と、今なお厳しい状況が続いています。スポーツ環境も同様です。しかし、震災以降本県選手は、ふるさと「ふくしま」を思う強い気持ちで各種大会に臨み、他県の強豪と互して戦っています。通常であれば数ヶ月のブランクがある中で、大会に臨むことなど考えられない競技の世界で、県代表選手は結果を出し、そのことによって暗く落ち込んだ県民を大いに勇気づけ、元気を与えてくれました。昨年8月の異動から、そういう多くの感動の場面に立ち会うことができました。選手に話を伺うと、選手たちは震災後の復旧のさなか、「このままスポーツをしていいのか」、「自分はどうすべきか」など、自問自答しながら活動を続けたといひます。特に、昨年の国体の水泳競技で、競技力向上委員長の「言い訳をしないで泳がせる」との指導の下、湯本高校の小松桃子選手が100M自由形で2位となったレースは、県水泳連盟の方々や感動を共有させていただきました。レースの展開とともに表彰台での素晴らしい笑顔は、競技に懸けた思い、競技できることへの感謝、泳ぐ環境をつくってくれた関係者への感謝の気持ちが全面に出されていました。昨年の国体のことではありましたが、今ほどスポーツ振興に関わっている自分を嬉しく誇らしく思うとともに、スポーツの持つ力を理屈抜きに実感いたしました。

震災以降、スポーツの明るい話題でどれほど元気づけられたか。女子サッカー、ワールドカップでのなでしこジャパンの優勝。何度突き放されても可能性がある限りひたむきに勝利のために向かっていく姿勢。アメリカやドイツといった強豪国に立ち向かう選手の姿と震災の爪痕という大きな障害を乗り越えようとしている自分達のが重なった思いで応援していた人も多かったのではないかと思います。今年開催されたロンドンオリンピックでも文字通りリアルタイムで筋書きのないドラマを予測しながらも心躍らせ、勝っても負けても感動、寝不足なのになぜか応援せずにいられなかった、サッカー男子、

そしてなでしこジャパン。力を発揮できなかった柔道、体操日本男子の演技、フェンシングの残り1秒の奇跡等々しっかり見届けました。失敗も成功もスポーツ、そこから得る感動、スポーツの素晴らしさ。あつという間の17日間でしたが、終了後は国民のスポーツへの関心が高まり、アスリートの被災地での活動などスポーツの持つ力の認知もさらに高まっています。

このような中、国は「スポーツ振興法」を全面的に改正し「スポーツ基本法」が昨年8月施行され、前文や基本理念には「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは人々の権利」と規定され、本年3月には「スポーツ基本計画」が策定されました。

本県は、本県を取り巻く社会経済情勢が震災により、県総合計画策定時（平成21年12月）の想定を超えて大きく変化していることと、「スポーツ基本計画」を踏まえ、スポーツ振興の指針である「福島県スポーツ振興基本計画」を見直し、新たに「福島県スポーツ推進基本計画」を策定することとして、その見直し作業を進めています。

厳しい社会経済状況や時代潮流の中にあっても、スポーツの振興を通して人と地域が生き生きと活力に満ち、将来に夢と希望を持てる「ふくしま」を創造するために、県民が生涯にわたって主体的かつ継続的にスポーツに親しみながら、人と地域が輝く『ふくしま』を創ることを目指しています。

本協会といたしましても、このことを踏まえて、県民の誰もが生涯にわたって豊かなスポーツライフが享受できるよう各種生涯スポーツ事業を推進するとともに、国民体育大会をはじめとする各種全国大会で数多く活躍できるよう競技力の向上に取り組んで参りたいと考えております。

震災を乗り越え、県民がこぞってスポーツに親しみ、将来を担う子どもたちが夢と希望を持てる活力ある「ふくしま」を取り戻すため、関係機関・団体と一丸となって取り組んで参りますので、皆様の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。



財団法人 福島県体育協会専務理事  
長岐 博

### もくじ

- 1 巻頭言
- 2 第67回 国民体育大会成績
- 3 国体本大会競技別成績と活躍選手・監督の寄稿
- 7 ロンドンオリンピック・パラリンピック特集
- 9 ふくしまスポーツフェスタ2012inこおりやま  
平成24年度 第1回福島県スポーツ指導者研修会県中ブロック研修会
- 10 平成24年度 福島県体育協会認定アスレティックトレーナー養成講習会  
スポーツ医事・トレーニング相談事業の様子
- 11 日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会開催  
インフォメーション
- 12 うつくしま広域スポーツセンター事業の様子
- 13 みんなでつくろう総合型！ 総合型地域スポーツクラブ
- 14 平成24年度県民スポーツ振興協力会員名簿  
編集後記

#### 【表紙写真説明】

ボウリング 大河内未来選手(福島民友新聞社) バドミントン 桃田賢斗選手・保木卓朗選手(福島民友新聞社)  
剣道 原田賢治選手(福島民友新聞社)

※写真のあとの( )は写真提供をいただいた新聞社名です。



# 第67回 国民体育大会成績

## 1 参加状況

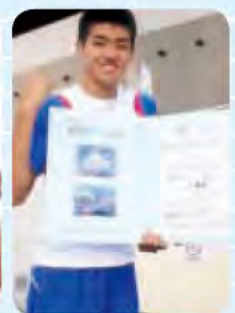
大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート アイスホッケー	平成24年1月27日(金) ～2月1日(水)	岐阜県 愛知県	佐藤 英壽	2	9	6	34	49
	スキー	平成24年2月14日(火) ～2月17日(金)	岐阜県	渡部 孝美	1	9	8	46	63
本大会		平成24年9月29日(土) ～10月9日(火)	岐阜県	宗形 守敏	34	17	63	388	468

## 2 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
冬季大会		14.0点	30点	44.0点	24位	13.0点	20点	33.0点	19位
	スケート	10.0点	10点	20.0点	20位	10.0点	10点	20.0点	16位
	アイスホッケー	0.0点	10点	10.0点	11位				
	スキー	4.0点	10点	14.0点	18位	3.0点	10点	13.0点	13位
本大会		271.0点	370点	641.0点	41位	60.0点	270点	330.0点	44位
合計		285.0点	400点	685.0点	43位	73.0点	290点	363.0点	44位



総合開会式(福島民友新聞社)

佐藤真有選手  
(福島民友新聞社)山下航平選手  
(福島民友新聞社)

鈴木皓大選手



# 国体本大会競技別成績と活躍選手・監督の寄稿



なぎなた競技

●陸上競技 競技得点42点 天皇杯19位 皇后杯14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	400Mハードル	5	4	記野友晴	福岡大学大学院1年
	3000M障害	6	3	菊池敦郎	N T N
成年女子	100M	4	5	渡辺真弓	東邦銀行
	400M	1	8	佐藤真有	東邦銀行
	800M	4	5	千葉麻美	東邦銀行
	400Mハードル	8	1	吉田真希子	東邦銀行
少年男子	三段跳	7	2	三浦菜莉	筑波大学大学院1年
	A 三段跳	1	8	山下航平	橘高等学校3年
	B 走幅跳	4	5	伊藤丈晃	福島高等学校1年
	B 砲丸投	8	1	天野光汰	安達中学校3年



伊藤丈晃選手(福島民報社)

●水泳競技 競技得点26点 天皇杯21位 皇后杯26位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	100M背泳ぎ	7	2	山口雅文	ミズノ(株)
成年女子	200M個人メドレー	8	1	加藤和	山梨学院大学4年
少年男子	A 200M背泳ぎ	7	2	鈴木皓大	日本大学東北高等学校3年
	B 200M個人メドレー	3	6	加藤大樹	岳陽中学校3年
	B 100M自由形	6	3	服部翼	渡利中学校3年
	B 100Mバタフライ	4	5	服部翼	渡利中学校3年
成年女子	高飛込	6	3	吉田佳世	日本体育大学3年
	飛板飛込	5	4	吉田佳世	日本体育大学3年



記野友晴選手(福島民友新聞社)

●なぎなた競技 競技得点3点 天皇杯21位 皇后杯21位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	試合競技	8	3	武藤小夜子	会津学鳳中学校教員
				新田葵	会津ザベリオ学園高等学校教員
				星若加菜	国際武道大学4年

●ゴルフ競技 競技得点0点 天皇杯19位 皇后杯9位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
女子	個人戦	8	0	武尾咲希	会津学鳳高等学校3年



三浦菜莉選手(福島民報社)



天野光汰選手(福島民友新聞社)



山口雅文選手



加藤樹選手

## 国体に懸ける思い

陸上競技 福島高等学校 伊藤 丈晃

昨年の中学3年時、国体入賞圏内の自己記録を持ちながらも私は、山口国体に出場することができませんでした。「少年男子B走幅跳」という枠に、同じ福島県で自分より優れた選手がいたためです。負けた自分が国体に出場できないことは分かっていましたが、悔しい気持ちでいっぱいでした。だから今年の岐阜国体に懸ける思いは非常に強いものがありました。

5月末に行われたインターハイ県大会では、7位に終わり東北大会に出場することができませんでした。国体出場に懸ける思いが強かったのでぶれることはありませんでした。

監督・コーチの助言を聞きながら県総体をピークになるように練習に励んだ結果、7月に開催された県総体で記録を残すことができ、国体選手に選考されました。ここまでは第一歩で目標はあくまでも国体で優勝することでした。

強化練習会時にコーチから指導を受け、少しずつフォームや走法を改善していくことができ、調子は上向きでした。

試合前日のミーティングでコーチからアドバイスされた「熱い心と冷静な頭」という言葉が強く心に響きました。私は大きな大会であればあるほど、闘争心が掻き立てられ良い記録を出せます。

しかし、それと同時に力んでしまい、それが空回りしてしまうこともあります。現に県高校新人大会では、これが出てしまい、監督に指摘されて気がつきませんでした。

本番当日「熱い心と冷静な頭」を思い出しながら「7m30を跳び、優勝」という目標を掲げ試合に臨みました。結果は4位でした。目標が高かっただけに記録も順位も不本意な結果でした。「自分はもっと跳べた。1位になれた」と思いましたが、時間が経つにつれ冷静に考えると、これが今の実力であることを再認識しました。

今年の国体では優勝こそ逃しましたが、自分をここまで成長させてくれた福島県にポイント貢献したことは私の誇りでもあります。来年も国体に出場し、陸上王国福島に貢献できるように自分を磨いていきたいです。



## ぎふ清流国体を振り返って

ソフトボール競技少年男子監督 郡山北工業高等学校 教諭 会沢 尚公



今年の少年男子チームは東北ブロックで1つの国体出場権の獲得を目指してスタートしました。東北総体では、今年の特徴である『相手に得点を与えず、少ないチャンスを実践にもにして勝つ』という戦いができ東北総体優勝、国体の出場権を獲得しました。

私自身、平成21年度に郡山北工業高校に赴任してから4年間、少年男子チームに携わり、最初の2年間は大森史仁先生(須賀川高校)のもとソフトボールについて勉強してきました。大森先生は、平成20年度まで郡山北工業高校で指導され、平成18年3月には全国選抜大会で準優勝するなど、郡山北工業高校を全国有数の強豪校に育て上げた経験と実績を持っています。私が監督を引き継いだ今でも貴重なアドバイスを頂くなどサポートしてくれます。また、普段は安積黎明高校で女子ソフトボール部の指導をしている相場正伸先生が少年男子チームのスタッフとして協力してくれます。大森先生、相場先生とともに以前は福島県の成年男子の選手として活躍しており、経験豊富な2人の先生が私を含めた少年男子チームを支えてくれるので、大変心強く、感謝しています。

岐阜国体では、初戦の相手が高知県と決まりました。高知県は平成18年から平成22年まで国体5連覇を達成している強豪であり、昨年の山口国体でも初戦で、大森先生が指揮を執っていた新潟国体でも初戦で対戦し、いずれも敗れている因縁の相手です。対戦が決まったときは、正直「また高知?」という思いもありましたが、全国で上位に進出するためには越えなければならない相手であり、何とか一泡吹かしてやろうという気持ちになりました。相手投手はU19の日本代表にも選出され120kmを超える速球を持つ投手です。序盤に失点したらまず勝てない相手なので、勝つためには0-0で我慢しワンチャンスをものにして、1-0で勝つというイメージで臨みました。投手を中心に序盤を無失点で切り抜けると、中盤でのノーアウト3塁の大チャンスから1点をもぎ取り、その後も選手全員が好守備で1点を守りきり、1-0で勝利しました。このときは、試合前に描いていたイメージと結果が一致した私の監督生活でも数少ない会心のゲームとなりました。準々決勝では、富山県と対戦し中盤に集中打で5点を挙げ、5-0で勝ち準決勝に進出しました。準決勝の相手は長崎県です。長崎県は、春の選抜優勝の大村工業高校、夏のインターハイ優勝の佐世保西高校の2校を中心に選抜され結成されたチームで、今大会でも優勝候補No.1と言われるチームです。東北総体からここまで投手力を武器に勝ち進んできましたが、序盤から失点を重ねてしまい、攻撃面では相手の選抜優勝投手からインターハイ優勝投手のリレーの前に得点することができず、0-6で敗れてしまいました。選手は一人ひとりが素晴らしいパフォーマンスを発揮し、第3位という立派な成績を収めることができました。しかし、全国の高い壁を感じたのも事実です。今年の少年男子チームは選手13名のうち8名が2年生であり、全国のトップレベルの力を肌で感じた2年生にとって今大会は貴重な経験となりました。来年度以降、再び『全国制覇』という大きな目標に向けて挑戦していきたいと思えます。

最後に、これまで選手を支えてくださった皆様、応援していただいたすべての皆様に感謝申し上げます。

●ソフトボール競技 競技得点44点 天皇杯9位 皇后杯16位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		3	44	関裕哉	郡山北工業高等学校3年
				根本平	郡山北工業高等学校3年
				今泉祐輔	郡山北工業高等学校3年
				鈴木常聖	郡山北工業高等学校2年
				濱尾光	郡山北工業高等学校2年
				村上史輝	郡山北工業高等学校2年
				阿部成司	郡山北工業高等学校2年
				辻聖政	郡山北工業高等学校2年
				君島樹	郡山北工業高等学校2年
				星野嵩幸	須賀川高等学校3年
				岡谷健太	須賀川高等学校3年
				塩澤直登	須賀川高等学校2年
				内山寿弥	須賀川高等学校2年

●ボート競技 競技得点3点 天皇杯31位 皇后杯24位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子		8	3	佐々木幸	田村高等学校2年
				橋本珠美	田村高等学校3年

●ウエイトリフティング競技 競技得点31点 天皇杯19位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	56kg級スナッチ	6	3	吉田真弘	平成国際大学4年
	56kg級C&J	2	7	吉田真弘	平成国際大学4年
	62kg級スナッチ	5	4	黒江雄治	福島工業高等学校教員
	62kg級C&J	5	4	黒江雄治	福島工業高等学校教員
	69kg級スナッチ	7	2	熊川雄太	拓殖大学3年
少年男子	56kg級スナッチ	3	6	近内三孝	田村高等学校2年
	56kg級C&J	7	2	近内三孝	田村高等学校2年
	62kg級C&J	6	3	村松大生	福島工業高等学校3年

●カヌー競技 競技得点6点 天皇杯30位 皇后杯27位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	カヤックシングル500M	5	4	宮田悠佑	鹿屋体育大学3年
少年女子	カヤックシングル500M	7	2	小久保南海	二本松第一中学校3年



上より:佐々木幸選手(左)・橋本珠美選手(右)(福島民報社)／ウエイトリフティング(福島民友新聞社)／宮田悠佑選手(福島民友新聞社)





湯田雅暉選手・角田友紀選手  
(福島民報社)



湯田光選手・小椋慎也選手  
(福島民報社)



福田広樹選手  
(福島民友新聞社)

●空手道競技 競技得点5点 天皇杯22位 皇后杯22位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	組手軽量級	4	5	守屋 樹	帝京大学2年

●馬術競技 競技得点16点 天皇杯17位 皇后杯23位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	馬場馬術	3	6	杉本 隆雄	東北馬事センター
	自由演技馬場馬術	3	6	杉本 隆雄	東北馬事センター
	トップスコア	8	1	吉田 学人	東北馬事センター
	団体総合	7	2	神保 太希	ヘレナ国際乗馬倶楽部
少年男子	自由演技馬場馬術	8	1	宮野 将太郎	勿来工業高等学校3年

●レスリング競技 競技得点28点 天皇杯16位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	グレコローマン96kg級	2	7	福田 広樹	自衛隊体育学校
	フリースタイル120kg級	3	5.5	角田 友紀	東京農業大学2年
少年男子	グレコローマン74kg級	5	2.5	大竹 真南斗	田島高等学校3年
	グレコローマン96kg級	5	2.5	猪股 樹希垂	田島高等学校3年
	フリースタイル50kg級	5	2.5	湯田 光	田島高等学校3年
	フリースタイル66kg級	3	5.5	湯田 雅暉	田島高等学校3年
	フリースタイル84kg級	5	2.5	小椋 慎也	田島高等学校3年

●バドミントン競技 競技得点21点 天皇杯8位 皇后杯13位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		2	21	桃田 賢斗	富岡高等学校3年
	松居 圭一郎			富岡高等学校3年	
	保木 卓朗			富岡高等学校2年	

●自転車競技 競技得点11点 天皇杯20位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	個人ロード・レース	6	3	吉田 優樹	学法石川高等学校3年
	ポイントレース	4	5	佐々木 堅次	白河実業高等学校3年
男子	4km 団体追抜競走	8	3	久保田 元氣	日本大学2年
				我妻 優弥	日本大学2年
				緑川 駿一	中央大学2年
				吉田 優樹	学法石川高等学校3年



桃田賢斗選手・保木卓朗選手  
(福島民報社)



吉田優樹選手  
(福島民報社)



佐々木堅次選手  
(福島民報社)

「初めての国体」

空手道競技 帝京大学 守屋 樹



今回の第67回国民体育大会 岐阜清流国体空手道競技において、成年男子個人組手軽量級に出場しました。結果は、第4位に入賞することが出来ました。

自分は中学校を卒業後は、地元山梨県を離れ、空手道を極めたい一心で学法福島高等学校に入学し、日々厳しい稽古に耐えながら寮生活を送ってきました。高校時代は、2年生時の全国高校空手道選抜大会で男子団体形競技において準優勝という成績を残すことが出来ました。しかし、形競技ではインターハイ等の全国大会に出場したものの、組手競技での個人戦出場を果たすことが出来ず、悔しい気持ちが残りました。高校を卒業後、空手道の名門である帝京大学に進学し、文武両道を目指した日々を送っています。その甲斐もあり、福島県代表として初の国体出場権を獲得することが出来ました。それは個人として初めての組手競技での出場となりました。選手に決定してからは、昨年起きた東日本大震災で福島県のみなさんが大きな被害に遭いながらも応援してくれたこと、今まで自分を支えてくれた方々、そして第二の故郷である福島県への恩返しのためにも一層気合を入れて国体に臨みました。初戦は初の個人組手出場という緊張もありましたが、日頃の稽古を思い出し強い気持ちで戦うことが出来ました。勝ち進むにつれ緊張もほぐれ、体が思うように動きだし、より強い気持ちで集中して対戦することが出来ました。これも自分を支えてくれた多くの方々のおかげだと感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

正直、第4位という結果には満足していません。次こそは、組手・形の両競技に出場し日本一になれるよう努力したいと思います。そして、少しでも福島県に恩返しできるよう、これからも日々の稽古に励み頑張りたいと思っています。最後になりましたが、監督をして下さった松原先生、会場まで応援に来て下さった佐藤先生・松本先生、本当にありがとうございました。



## 「初めての国体」【インタビュー】

ボウリング競技 福島東稜高等学校 大河内未来

- 国体を終えての感想は？ 合宿を行うなどして万全な状態で大会に臨みました。予選前半を終えてトップ、後半を終わった時点で2位で、8人で行う決勝に進むことができました。決勝では、優勝を目指してプレーしましたが、難しいレーンに苦戦してしまい、自分が思うような投球ができませんでした。試合が終わった直後は、思うように投球できなかった悔しさでいっぱいでしたが、表彰式では、全国大会で6位に入賞したという実感が徐々に湧いてきて、満足しています。
- ボウリングを始めたのは？ 小学3年生から始めました。きっかけは、子供会のボウリングの大会に参加したことです。結果があまり良くなって悔しくてボウリング場に通い始めました。また、家族全員がボウリングを行っていて、特に、父は指導者でありライバルでした。当時は、「父に勝つ」ことを目標に練習していました。
- どの程度練習していますか？ 週に4回、24ゲーム程度投球しています。指導者は、父、少年女子監督の齋藤憲治さん、ボウリング協会の垣内泰さんです。
- 今までの大会の成績は？ 中学3年の東北中学校選手権で優勝、今年の東北高校選手権で2位、東北総合体育大会で団体優勝、個人2位です。
- これからの抱負は？ 今回6位に入賞しましたが、今は、高校1年生なのであと2回国体に出場できるチャンスがあります。来年以降も国体に出場して、2年生の時には3位以上、3年生の時には、優勝したいです。応援して下さいの皆様への感謝を忘れず、日々努力し、頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。  
普段はおとなしい感じのする大河内さんですが、いざボウリングのゲームが始まると、負けず嫌いの勝負師になります。今後の活躍を期待しています。

## 「ぎふ清流国体」を振り返って

クレール射撃競技総監督 高橋 信次

平成24年10月4日より5日間にわたり、クレール射撃競技が、岐阜県白川町、白川クレール射撃場において開催されました。クレール射撃競技は、トラップ種目とスキート種目の各3名が射撃をいたします。1人100枚のクレールを撃ち、トラップ300点満点、スキート300点満点で、合計点数が上位の都道府県から順位が決定されていく競技となっております。1名の選手が1回に撃つクレールの枚数は25枚を4回に分けて競技します。1ラウンド25枚、これを4ラウンド計100枚のクレールを撃つこととなります。今年は射撃場の設備の都合上、5日間という変則的な日程で行われました。通常であれば3日間で終了するところですが、今年は日程が長い分、選手もコンディションの調整に苦労しました。大会1日目トラップ種目、相澤選手18点、小豆畑選手19点、大竹選手21点。スキート種目、根本選手20点、掛田選手19点、佐藤選手24点、1ラウンド終了時トラップ種目75点満点中58点、団体でベスト16位。スキート75点満点中63点、団体5位で終了。大会2回目は、スキートの掛田選手がノーミスで25点を撃つなどで、順位を上げました。トラップ種目、スキート種目ともに、今までの強化の成果が、やっと出ました。スキートでは本県がトップの成績となり、選手は目に見えないプレッシャーとも戦いました。口数も少なくなり、宿舎では、なるべく射撃以外の会話をするなど、なるべく競技、順位のことを考えさせないよう努めました。大会4日目は、選手達の雰囲気も変わり口数も普段通りに戻り、トラップ種目、スキート種目ともに選手のコミュニケーションも良くとれている様子が、選手のミスは後の選手が取り返すという気持ちで、競技に集中していました。大会5日目（最終日）は、成績によっては団体8位入賞が期待されます。最終日に出場する3選手に緊張感が感じられました。国体初出場の選手からベテラン選手まで、ミスをしないクレール射撃を意識し、プレッシャーと戦いながら頑張ってくれました。

結果、トラップ種目団体14位（237点）、スキート種目団体5位（254点）、総合8位入賞で、入賞は第60回岡山国体以来、7年ぶりの入賞になりました。今回の入賞は、選手一同が一丸となり諦めずに練習を重ねた結果だと確信しております。ふくしま国体の頃のクレール射撃の成績復活を目指し、これからも精進していく所存でございます。

### ● ボウリング競技 競技得点3点 天皇杯26位 皇后杯20位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	個人戦	6	3	大河内 未来	福島東稜高等学校1年

### ● クレール射撃競技 競技得点12点 天皇杯8位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	スキート団体	5	12	根本 久義 掛田 安宏 佐藤 茂	(同) ストックサービス (有) カケダ (株) 浦島通信

### ● サッカー競技 競技得点20点 天皇杯13位 皇后杯5位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
女子		5	20	平出 遥夏 田口 ひかり 須永 愛海 山名 真妃 山守 杏奈 高橋 千春 吉武 愛美 森 沙也香 門井 恵美 石原 愛海 小島 ひかる 今野 楓 水谷 希 守屋 都弥 渡辺 瑞稀	日本体育大学1年 筑波大学1年 富岡高等学校3年 日本体育大学3年 富岡高等学校3年 関東学園大学3年 富岡高等学校3年 富岡高等学校3年 富岡高等学校2年 慶應義塾大学3年 富岡高等学校3年 富岡高等学校1年 富岡高等学校1年 富岡高等学校1年 富岡高等学校3年



大河内未来選手



サッカー女子



# ロンドンオリンピック・パラリンピック特集

## 「みなさんに支えられて」

山梨学院大学 加藤 和



福島県のみなさんご声援ありがとうございました。

この4年間、たくさん自分に負けたり、逃げたりしましたが、いろんな方に支えていただき、ここまでくることができました。みなさまのおかげでロンドンオリンピック日本代表として幼い頃から目標としていた夢の舞台へ出場することが出来ました。

私は、今までの競技人生の中で、たくさんの方々との素敵な出会いに恵まれ、本当に感謝しています。幼い頃からずっと私を支え続けてくれた両親、小学生の頃から長い間、私の泳ぎを見続けて頂いた小柳隆行コーチ、そして一緒に福島県からロンドンオリンピックを目指して頑張った山口雅文さんの存在も、私にはとても心の支えとなりました。感謝しています。

去年の震災から1年半が経ち、まだまだ落ち着かない福島県ではありますが、少しでも私の話題で勇気と希望を福島県に届けることが出来ていれば嬉しいです。

今回のオリンピックでは、ベストを出して決勝へ残るという想いが強かったですが、悔しい結果となってしまいました。しかし、自分自身をしっかり持ってレースに臨めたのは良かったです。また、初めてのオリンピックでしたが、楽しく泳ぐことができました。これからは、体とところをゆっくり休めて、じっくりと今後の目標について考えていきたいと思います。

今年の福島県の競泳を振り返ると、全国中学校体育大会やジュニアオリンピック、岐阜国体において、若い世代の選手達が素晴らしい結果を残してくれました。選手達の頼もしい姿に、福島県の競泳がこれからも楽しみになってきました。私の後に続く、オリンピック選手の誕生もそう遠くはないと思います。福島県のみなさん、是非これからも、福島県の水泳へのご声援をよろしくお願いします。





## “IOC-TSUBASAプロジェクト” 第30回ロンドンオリンピック競技大会視察団に参加して

福島市立信陵中学校 高橋 柚花



今年のオリンピックは私にとって輝く出来事となりました。イギリス・ロンドンでの日本との異なる文化、そしてオリンピック選手達の熱い戦いを現地で感じることができ、胸いっぱい日本へ帰ってくることができました。

現地で私達は、オリンピック選手の試合を見る機会をたくさんいただくことができました。各会場に足を運ぶと会場一帯が熱気に包まれており、私はオリンピックに参加しているという感動と、その熱気に飲み込まれそうな気持ちでいっぱいになりました。その中で競技をし、最高のパフォーマンスを発揮する選手はどれだけ凄いことなのか自分の目で確かめることができ、選手の「心の強さ」を感じることができました。強い選手になるには、優れた技術も大切だと思いますが、「強い心」を持つことが勝利への近道なのだと、改めて実感しました。

また、現地では普段、関係者以外入ることのできない選手村へ入ることもできました。選手村は想像していたよりも大きく、とても充実した環境でした。食事をする所では、各国の選手が自分に合った食事をしていました。そこには、競技を終えた選手と終えていない選手がいるため、緊張した雰囲気となっていると思っていましたが、とてもリラックスした雰囲気でした。選手は競技とプライベートの時間を分けて生活を送っており、試合期間中も競技とプライベートを分けて生活することで、より競技に集中して取り組むことができるのだと感じました。

今回の視察団に参加して、オリンピックとは世界がつながる重要な祭典なのだと改めて考えることができました。私自身も多くの人と触れ合うことができ、私自身を見つめなおすきっかけにすることができました。私はこの経験を今後の生活に生かし、成長していきたいと思います。そして、将来オリンピックなどで活躍する選手を何かの形で支えることができる大人になりたいです。



うつくしまスポーツキッズ発掘事業参加者より4名が視察団に参加しました。



# ふくしまスポーツフェスタ 2012inこおりやま

兼 第32回福島県レクリエーション大会 / 兼 第19回郡山市民スポーツ・レクリエーション祭

「ふくしまスポーツフェスタ」は広く県民にスポーツ・レクリエーションの場を提供することにより、県民のスポーツ・レクリエーション活動を一層促進し、健康で明るく潤いのある県民生活の実現に資することを目的とし、特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会と福島県が主催しています。

今年は9月1日(土)と2日(日)の2日間、郡山市を会場に開催されました。郡山市の協力のもと、各競技団体が前日や朝早くから準備を整え、万全の体制で参加者を迎え入れました。各会場では、チーム間や地域間の交流が盛んに行われ、スポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができました。

## 【競技種目 23種目】

- ・インディアカ
- ・オリエンテーリング
- ・キンボールスポーツ
- ・グラウンド・ゴルフ県大会
- ・グラウンド・ゴルフ市大会
- ・ゲートボール
- ・クロリティ
- ・スポーツ吹矢県大会
- ・吹き矢
- ・ソフトバレーボール
- ・ターゲット・バードゴルフ県大会
- ・ターゲット・バードゴルフ市大会
- ・綱引
- ・ディスクゴルフ
- ・ドッジボール
- ・パークゴルフ
- ・バウンドテニス
- ・フライングディスク

- ・フロアボール
- ・社交ダンス
- ・木球
- ・ラージボール卓球県大会
- ・ラージボール卓球市大会

## 【実践種目 13種目】

- ・キャンプ
- ・健康ウォーキング
- ・サイクリング
- ・3B体操
- ・日本民謡
- ・太極拳
- ・フォークダンス
- ・ファミリーでレクリエーション・ゲーム
- ・武術太極拳
- ・マウンテンバイク
- ・ほんとうの空と風の高原を訪ねて
- ・レクリエーションダンス
- ・スポ・レク体験ひろば



## 平成24年度 第1回福島県スポーツ指導者研修会 県中ブロック研修会

### 「スポーツと栄養について」「指導現場における役立つ救急処置」

福島県スポーツ指導者協議会では、日本体育協会公認スポーツ指導者の義務研修会として年3回のスポーツ指導者研修会を実施しています。今年度1回目の研修会は、10月28日(日)に郡山市の「ユラックス熱海」にて開催しました。

公立藤田総合病院より日本体育協会公認スポーツ栄養士の山崎有理子先生をお迎えし、スポーツ選手と栄養の関わりについて、専門的な立場から講義していただきました。

日本体育協会公認アスレティックトレーナーの鬼澤武則先生からは、指導現場における役立つ救急処置について、足関節の内反捻挫に対するテーピングを中心に実技指導をしていただきました。福島県体育協会認定の遠藤、古川、高田トレーナーもアシスタントを務めました。

また、大塚製薬株式会社から、熱中症対策について情報提供がありました。受講者は、今後の指導に生かそうと、真剣な態度で講義、実技に臨んでいました。





## 平成24年度 福島県体育協会認定アスレティックトレーナー養成講習会

**期 日** 平成24年11月10日(土)～11日(日)

**会 場** 福島県青少年会館

**講 師** 堀川 哲男先生(公立藤田総合病院) 吉田 仁郎先生(ARCクリニックよしだ整形外科)  
 待井 一男先生(待井循環器科内科クリニック) 大歳 憲一先生(福島県立医科大学)  
 中澤 謙先生(会津大学文化研究センター) 小林 光幸先生(ラソラックス鍼灸整骨院)  
 鬼澤 武則先生(おにざわ接骨院) 山崎有理子先生(公立藤田総合病院)

**内 容** 県体育協会加盟団体・スポーツドクター部会・スポーツ医科学委員からの推薦者14名を対象に2日間にわたり専門科目の集合講習が行われました。アスレティックトレーナーの役割、スポーツ心理学、スポーツ外傷・障害の基礎知識、内科的障害、検査・測定と評価、予防とコンディショニング、スポーツと栄養などについての講義・実技を通して、受講者はATとしての資質の向上に努めました。認定ATもスキルアップのために2名参加しました。

カリキュラムには、今回の講習に加え、基礎科目として救急法講習や日本体育協会の「スポーツリーダー」講習があり、受講者は今年度中に全てを修了することになっています。

本協会の認定ATは現在45名ですが、AT部会の活動や研修会等を通して、情報の提供・交換・共有を図り、競技力の向上や生涯スポーツの振興に結びつけていきたいと考えています。



## スポーツ医事・ トレーニング相談事業の様子

この事業では、スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図る目的として、依頼により、相談員・講師を派遣しています。相談員・講師は、本協会のスポーツ医・科学委員、スポーツドクター部会員、アスレティックトレーナー部会員、その他スポーツ医・科学委員会の認められた方が務めています。今年度は、11月までに延べ31名の相談員・講師を派遣しました。

### 5/8 体育・スポーツ団体調整会議

講義：「低放射線量下におけるスポーツ活動」  
 講師：菊池辰夫氏（菊池医院）

### 5/17 県銃剣道連盟

実技：「体幹トレーニング研修会」  
 講師：二瓶敦志氏（ARCクリニック）

### 6/8 郡山第四中学校

実技：「けが予防のストレッチ」  
 講師：小林光幸氏（ラソラックス鍼灸整骨院）

### 7/4 信陵中学校

講義：「ケガをしない体づくりと食事のとり方」  
 講師：鬼澤武則氏（おにざわ接骨院）

### 9/16 そうま中央スポーツクラブ

実技：「スポーツマッサージ」  
 講師：相原 真氏（まこと接骨院）

### 10/14 南会津町体育協会

講義：「スポーツ指導者に必要な医学的知識」  
 講師：馬場俊輔氏（楓鍼灸治療室）





## 日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会開催

今年度の指導者養成講習会は、ソフトテニス・水泳・バドミントン・アーチェリー・アイスホッケー・ボウリング・バレーボールの7競技において、専門科目講習が県内各地で140名を超える受講者を集めて実施されています。

「指導員」とは日本体育協会が進める公認スポーツ指導者制度に基づき、対象に合わせた競技別の技術指導などにあたるための資格です。

受講者は、技術指導理論・実技や応急処置など種目に応じた科目を30時間以上受講し、その後検定試験を受けます。

日体協公認スポーツ指導員に認定後は、地域のスポーツ指導者として活躍することが期待されます。



## 日本体育協会公認スポーツ指導者研修会のお知らせ

日本体育協会公認スポーツ指導者は、その資格を更新するために最低4年に1度、義務研修会を受講する必要があります。(更新予定日の半年前までの受講)

今年度はあと1回研修会を開催します。更新予定日が2013年10月で、まだ義務研修会を受講していない方は、ぜひ受講をお勧めします。

### 第3回福島県スポーツ指導者研修会

期日 平成25年2月3日(日) 会場 内郷コミュニティセンター

締切 平成25年1月12日(土)

問合せ先 (財)福島県体育協会  
生涯スポーツ係 024-521-7896

インフォメーション

# HOTNET

「HOTNET」は福島県のスポーツを  
応援するホームページです!

<http://www.sports-fukushima.or.jp>

E-mail: [info@sports-fukushima.or.jp](mailto:info@sports-fukushima.or.jp)

(財)福島県体育協会

福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

## スポーツなんでも相談

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好家や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関することの無料相談を受け付けています。下記の方法でお問い合わせください。

① 電話によるご相談 TEL 024-521-7896

② FAXによるご相談 FAX 024-521-7971

③ メールによるご相談 [info@sports-fukushima.or.jp](mailto:info@sports-fukushima.or.jp)



# うつくしま広域スポーツセンター

## 平成24年度 第1回うつくしま総合型スポーツクラブユニオン交流事業

### 1 研修会の部(シンポジウム)

「新・クラブ運営を考える～これからのクラブに求められるもの～」と題し、県内外の現場で活動中のシンポジストが、経験から感じる「本音」を語り合いました。質疑応答を通じて、参加者自身も考え、明日のクラブ経営のヒントになる機会となりました。

#### シンポジスト

- 鹿内 葵 氏 (NPO法人スポネット弘前・クラブマネジャー：青森県弘前市)
- 司東 道雄 氏 (NPO法人フォルダ・ゼネラルマネジャー：岩手県北上市)
- 遠藤ノブ子 氏 (ならばスポーツクラブ・ゼネラルマネジャー：福島県楢葉町)

#### コーディネーター

- 湯田 賢史 氏 (うつくしま総合型スポーツクラブユニオン理事長)



シンポジストから所属クラブの組織、地域性や種目等の特徴を生かした経営状況について紹介がありました。「人の循環」の仕組み作りとコツ、組織の柔軟性、スポーツにとらわれないクラブの柔軟な活動のアイデア・発想と実現化のための工夫、またマンパワーとしてボランティア・スタッフ、会員とのコミュニケーションといったキーワードが示されました。

70数名の県内の総合型クラブ会長、クラブマネジャー、事務局担当の方々が熱心に参加、質問も自由に飛び交う和やかな雰囲気の中で進んでいきました。



[各クラブの紹介 シンポジスト]

### 2 ウォーキングの部(交流イベント開催)

2日目は、秋晴れの下、160数名の参加者を地元マスコットのうとちゃん・うとこちゃんが迎え、「ウォーキング in 柳津」が「やないづふれあい館」駐車場をメイン会場に開催されました。

柳津町7kmのコースは、紅葉にはまだ時期が早かったですが、豊かな山なみ、川面を渡るそよ風を受けながら会津・柳津の大自然を楽しみました。また、福満虚空蔵尊圓蔵寺や奥の院弁天堂の会津の歴史・史跡を楽しみ、名物あわ饅頭や栗まんじゅうに舌鼓を打ち、汗をかいた後に弘法大清水を味わい、ゴール後には豚汁で空腹を満たしました。会津の秋の1日を満喫できたウォーキング大会になりました。

開催地の柳津町観光ボランティアガイドの皆さん、柳津町交通安全指導員の皆さん、また柳津町の皆様にはご協力いただきありがとうございました。



[須佐勝明選手(ロンドンオリンピックボクシング競技出場)]



[「絆」プレートも取材されました]



[参加者で記念写真]



[参加者を迎えたうとちゃん&うとこちゃん]



## みんなで作ろう総合型！ 総合型地域スポーツクラブ



くわのみ君

総合型地域スポーツクラブ

マルベリー こおり  
**Mulberry Koori**

まず、初めてクラブ名を耳にした皆さんが謎に思う、“マルベリー”ですが、英語で Mulberry = 桑の実を意味します。桑は、桑折町と密接な関係があり、現在の果樹園の多くは桑畑でした。桑折町に新しく創設したクラブに、縁の深いマルベリーの名を冠し、多くの人に親んでほしいと願いを込めています。そして、子どもから高齢の方まで、どんな人でも楽しめるプログラムを創出・提供して、新しい人の輪・つながりをつくることをめざし、平成22年7月1日に設立され3年目に入りました。

### 定期活動

#### ◎みんなでスポーツしよう

各地域小中学校の体育館を利用し、競技を決めずに大人から子どもまで一緒に活動しています。

#### ◎ヨガ教室

参加者の要望で、火曜日の夜間だけだった教室が、現在は日曜日の午前も行っています。

#### ◎ノルディックウォーキング

町内外から参加いただき、町内の史跡などを散策しながらウォーキングしています。

#### ◎ジュニアアスリート養成講座

小中学生を対象に子どもの発達段階に応じて、遊びを取り入れた練習を行うことにより、楽しく活動し、運動能力の向上を目指しています。町内外からたくさんの参加者があり、皆さん楽しく練習しています。

### イベント

#### ◎トレッキング

夏山トレッキングは毎回好評をいただいています。冬季は、スノートレッキングを予定しています。

#### ◎西根堰巡り健康ウォーク

春と秋の2回、選奨土木遺産“西根堰”（平成22年に認定：江戸時代初期につくられた、農業用水路〈福島市飯坂町から伊達市梁川町〉）のコースを変えて、水土里ネット西根堰の協力をいただきながら行っています。こちらには、県内外から参加いただいています。

#### ◎ファミリーソフトバレーボール大会

必ず大人と子供と一緒にチーム構成をしてもらいます。ファミリーと名前がついていますが、家族とは限らず世代交流を図りながら参加していただいています。

これからも、「いつでも、どこでも、誰とでも、スポーツや運動を通して、健康づくり、仲間づくりをめざします。」を目標に活動していきます。



トレッキング



ヨガ教室



みんなでスポーツしよう



ジュニアアスリート養成講座



西根堰巡り健康ウォーク

### お問い合わせ先

マルベリーこおり事務局

〒969-1613

福島県伊達郡桑折町桑島3103

TEL024-582-3129 FAX024-582-3104

E-mail firstmulbrry@yahoo.co.jp

## 広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

## うつくしま広域スポーツセンター (県体育協会事務局内)

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館  
http://www.u-kouiki.jp/USC.html  
E-mail:utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680  
FAX 024-526-4681

## 浜通り広域スポーツセンター (いわき市民プール管理棟内)

〒970-8032 いわき市平下荒川字南作101  
http://www.u-kouiki.jp/USC.html

TEL 0246-29-8608  
FAX 0246-29-8608

## 会津広域スポーツセンター (会津若松市ふれあいスポーツ広場ふれあい体育館内)

〒965-0003 会津若松市一箕町大字八幡字八幡2の1  
http://www.u-kouiki.jp/USC.html

TEL 0242-37-0588  
FAX 0242-37-0933



# 平成24年度 福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体の部(加入順)

福島県商工会連合会	(株)クラロンスポーツ	福島県商工信用組合
福島県信用金庫協会	福島県信用保証協会	(有)吾妻印刷
福島県旅館ホテル生活衛生同業組合	キング印刷(株)	(株)福島民報社
福島民友新聞(株)	福島県議会スポーツ振興議員連盟	磐城通運(株)
(株)東館	福島テレビ(株)	東信建設(株)
(株)ファルテック福島工場	(株)東北装美	ゼビオ(株)
(株)環境分析研究所	(株)モリヨシ技研	福島県ゴルフ連盟
(株)ウエディングエルティ	(株)クレハ環境	関場建設(株)
東北建設(株)	(株)ひらい	東開クレテック(株)
庄司建設工業(株)	原町港湾運送(株)	福島日産自動車(株)
福島トヨタ自動車(株)	(株)福島中央テレビ	クリナップ(株)いわき事業所
(株)民報印刷	小名浜製錬(株)小名浜製錬所	クレハ(株)いわき事業所
福浜大一建設(株)	(株)加地和組	クレハ錦建設(株)
堀江工業(株)	大塚製菓(株)郡山出張所	陽光社印刷(株)
名木製帽店	(株)海老名建設	(株)高橋建設
江花建設(株)	(株)ダイユーエイト	(株)ヤクルト本社福島工場
寿建設(株)	福島ヤクルト販売(株)	六陽印刷(株)
(有)エンドースクリーン	(株)NIPPOコーポレーション福島支店	北斗印刷(株)
オノヤスポーツ(株)	名鉄観光サービス(株)	スポーツニッポン新聞社福島支局
(株)レオック東北	(学)新潟総合学院FSG専門学校グループ	(株)日産サテリオ福島
(株)トヨタレンタリース福島	(株)テレビユー福島	(株)福島放送
県高等学校体育連盟	福島観光自動車(株)	トーアエイヨー(株)
福島銀行	福島トヨペット(株)	東北索道協会福島地区部会
(株)ル・プロジェ	(株)サンペンディング福島	(株)プロセス印刷
喜多方観光バス(株)	医療法人譚グループ郡山整形外科リハビリテーション科	医療法人待井循環器科内科クリニック
齋藤整形外科医院	(有)むもん	ワタナベカーペット(株)
第一温調工業(株)	(株)佐藤信博建築設計事務所	大宝建設(株)
(株)ヤスタ創建	東栄物産(株)	川俣貨物(株)
セントラルウェルネスクラブ福島	入三機材(株)	(株)福南電気
(株)セルラー電話サービス福島	(株)福々和本舗	医療法人佐原病院
菅野建設(株)	若松測量設計(株)	八幡印刷(株)
(株)いわき印刷企画センター		

個人の部(加入順)

片平俊夫	菅野正行	下山田好宏	北村孝男	本宿尚	結城勝夫	勝志一	夫志一
佐藤十宣	野藤久光	山田政裕	朽木岐藤	岩本忠	佐藤鈴木	昌浩	一郎
花井正幸	正久義隆	吉井和彦	長遠福富	田本俊香	荒神佐山	川野田	美智樹
穴辺正仁	木藤武良	橋田勝洋	藤田彌五	石香家	佐山齋平	藤田俊	知明
柴山城正	矢白須一	渡瀬廣鷺	富佐福太	村正勝三	齋平武	藤山部	康孝
東渡邊康	斎藤根秀	野地陽一	田藤本政	谷秀和	渡武橋	藤野浩	美治弘
高野川雅智	御代井祥常	安藤喜満	砂子田敦俊	本橋光	高武高	敏政	弘二
関根井田	永井小松	坂本石藤	森野崎崎	高橋卓	山高八	野高	一弘
櫻堀森小	佐久間光	米沢修	尾形幸	野田豪	野高	一弘	

※平成20年4月から平成24年10月までに協力金のご協力を頂いた個人・団体のみ掲載しております。

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立されました。この協力金は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。本協会の趣旨をご理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

●加入期間……入会后5年間 ●協力金額……毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。  
●加入窓口……財団法人福島県体育協会事務局 総務係TEL024-521-1291

編集後記

今年はロンドンオリンピックやパラリンピックなどの素晴らしいスポーツシーンがたくさんありました。そして、日本や世界で活躍する福島の選手の姿から勇気や感動をいただき、スポーツのもつ力を再認識した1年でした。その中でも中学生や高校生の活躍が光り、次世代の本県スポーツ界を創っていく福島の若い力が着実に育っていることは喜ばしいことです。今後とも県民の皆様にも、さまざまなスポーツ情報を提供できるよう努力してまいりますので、ご愛読の程よろしくお願いたします。



掛金が改定  
されました

# スポーツ安全保険

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

**5+**  
5名以上の団体で  
ご加入ください

写真提供 空手道マガジン月刊「JKFan」  
毎月23日発売 <http://jkfan.jp/jp/>

対象となる事故 **団体活動中の事故 / 往復中の事故**

保険期間 平成24年4月1日午前0時より平成25年3月31日午後12時まで(申込受付は平成24年3月から)

加入区分・掛金・補償金額 **掛金が改定されました** (団体活動を行う5名以上の方で、加入区分をそれぞれご選択のうえご加入ください。)

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども (中学生以下 (特別支援学校 高等部の 生徒を含む。))	スポーツ・文化・ボランティア・ 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 100万円	3,150万円 150万円	5,000円 1,000円	2,000円 500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円  身体・財物賠償 合算 1事故 500万円	葬祭費用 180万円  対象と なりません
大人 65歳以上 の方も加入 できます。	文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片付け	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どものスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
65歳 以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。  
※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。 **Web** スポーツ安全協会 検索

## 財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館 TEL 024-526-4600 電話受付時間:午前9時~12時、午後1時~午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細な内容、資料の請求は、  
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約付普通賠償責任保険およびスポーツ安全協会賠償責任特約(学校管理下外担保)))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書により、ご不明の点がございましたら(財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険株式会社までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)  
東京海上日動火災保険株式会社(担当課) 公務務2部公務務1課  
TEL 03-3515-4133(平日9:00~17:00)  
(共同引受保険会社(平成24年4月予定))  
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動  
日新火災 日本興亜損保 富士火災 三井住友海上  
平成24年1月作成 11-T-09434